

ひまわり

Vol.112

編集 中村建設(株)
四時市小古曾1-1-7
隔月発行

証城寺のたぬきばやし

作詞 野口雨情

しょう しょう しょうじょうじ
しょうじょうじの庭ば
つつ 月夜だ
みんな出てこいこいこい
おいらの友だちや
ポンポコポンのポン

負けるな 負けるな
おしょうさんに負けるな
こいこいこい こいこいこい
みんな出て こいこいこい



証城寺のたぬきばやし

野口雨情 作詞
中山善平 作曲

しょう しょう しょうじょうじ しょうじょうじの にわ は
しょう しょう しょうじょうじ しょうじょうじの は きは
つつ つつ つつきよだに みんなでか こいこい
おいらは とうもだちや ポンポコポンの ポン
まけるな まけるな おしょうさんに まけるな
こいこいこい こいこいこい みんなでて こいこいこい D.C.

全国的にも秋晴れが多い

月ではありますが、まもなく

北の方から寒気冷前線が下って

来て、立冬を過ぎますと冬は

駆け足でやって参ります。
呉々もお風邪など召され
ませんようにお氣をつけ
下さいます。
感謝はあなたが成長し、
広がるのを助けます。
感謝はあなたの人生に、
喜びと笑いをもたらすだけでなく、
あなたの周りにいる全ての
人々の人生にも喜びと
笑いをもたらします。

(マイクリン・キティ)

社長のひとり言

「住宅は商取りが命」

住まいを造って欲しい、と当社を訪れる友人や知人がいます。その中でも「息子たちが家を建てるので相談にのって欲しい」と言う内容が多いようです。その方の息子さんは既に多くのメーカーや住宅会社を廻っておみえです。先日同居の住宅を建てたいと言う方が来社されました。もう既にメーカーでプランを作成してもらい、概算も出ている様です。参考にと図面を見せて頂きました。私がそのプランを見て直ぐ思った事は親の意見が残念ながら反映されていないこと。お聞きするとプランの打合せは息子さん夫婦が中心となって商取りを進めていらつる事の事です。私はその方に

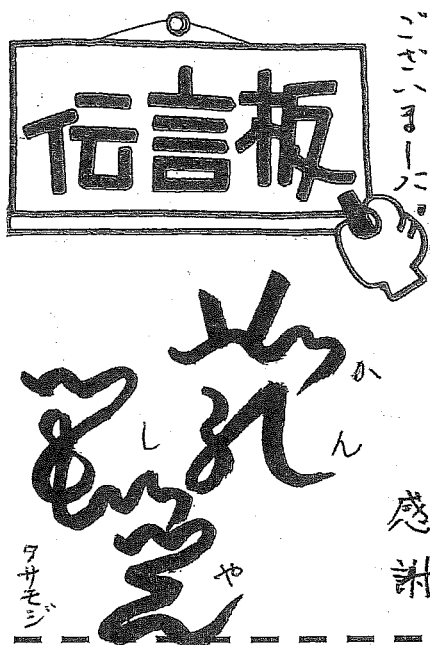
せん越ではございましてが、プランづくりに限らず、参加した方が良いと伝えました。自分にとって使い勝手の良い計画のまま家が出来てしまつと、そこに住んでみる自分の居場所がなく毎日強いストレスを受け、自分自身が病気になるのでは？とお伝えしました。

私も永く住宅づくりに関らせて頂いてますと色々なお話と見聞が致します。借家主活ではとても仲の良いご夫妻が新築した家に移られ暫くして離婚したとか、同居が上手く行かず息子さん夫婦が新居から出て行ってしまったとか、どうか大金と資源の無駄づかいを矢くすよつ、プランづくりは住む人全員の納得いくまで話し合つて造つて頂きますようお願いします。

(H28.10.19 記)

四日市まちセミについて

オス目のまちセミは、宇宙古代和字を体験して頂きました。古代日本にあったと云われる古代和字の由来や種類の話は、皆さんとても興味深くお聞きになっておられました。幾種類もある中からご自分と波長の合った文字をお選び頂き、好きな言葉と、その古代和字で書いて頂きました。例えば「ありがとう」とか「かんしゃ」とか青森ひばの板に筆を使って書いてお持ち帰り下さいました。お楽しみ頂いたようでご方々嬉しゅうございまして。感謝



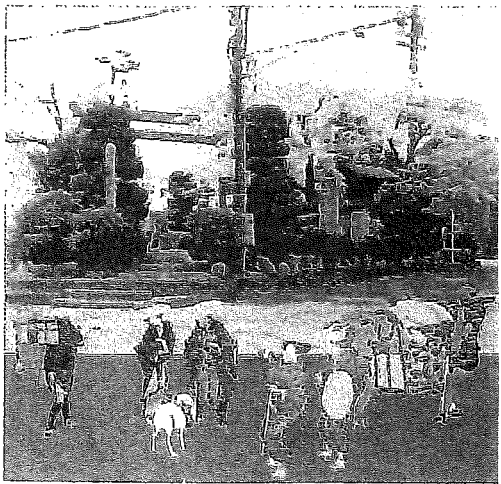
山崎

日永の追分（間の宿）

道が左右に分かれているところを追分といい、それが地名になっているところも全国でいたる所にある。日永の追分もその一つで、東海道を南に向かった場合、右に行けば京都、大阪へ、左に行けば伊勢へ通じる。すなわち、日永の追分は東海道と伊勢街道の分かれ道である。

伊勢街道が今のように拡幅されるまでは、その街道をまたいで伊勢神宮二の鳥居が立っていた。現在は昭和五十年の第九次の鳥居建て替えに際して緑地を設け、その中に立っている。

- 造営年次**
- 第一次 安永三年（一七七四年）
 - 第二次 文化六年（一八〇九年）
 - 第三次 文政十二年（一八二九年）
 - 第四次 嘉永二年（一八四九年）
 - 第五次 明治二年（一八六九年）
 - 第六次 明治二十二年（一八九九年）
 - 第七次 明治四十二年（一九〇九年）
 - 第八次 昭和四年（一九二九年）
 - 第九次 昭和五十年（一九七五年）

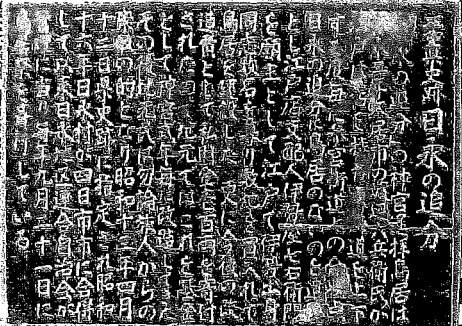


この度の鳥居の建て替えに際して初代社長から二度目のご縁を頂戴致しました。

その歴史とお木曳き的一端を

ご紹介させて

頂きました。



▲伊勢神宮二の鳥居図より（日永追分の図）

木遣り唄を練習、法被も準備

87年ぶり「お木曳行事」復活

「日永の追分」鳥居建て替え 23日

鳥居の竣工式は10月30日(日)午前10時から正午に行う予定。

カ ミ カ ミ

トヨノモジ

◀87年前の1929(昭和4)年に行われたお木曳行事の様子(提供写真)

東海道と伊勢街道の分岐点「日永の追分」(四日市市追分)に立つ鳥居の建て替えに伴い、御用材を奉曳する「お木曳行事」が10月23日(日)、87年ぶりに復活する。日永地区連合自治会を中心に、地域住民が行事を成功させようと盛り上がっている。

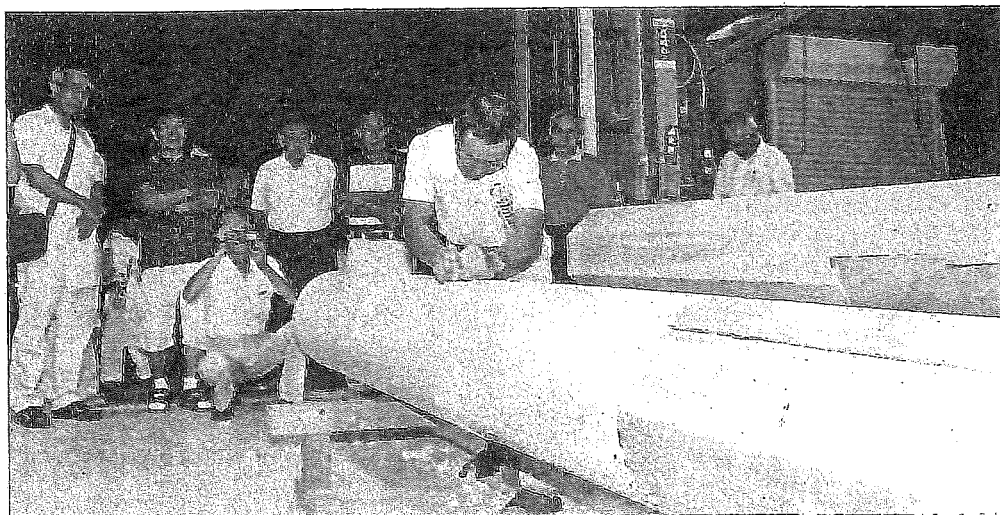
この鳥居は、江戸時代の1774年、伊勢出身の商人・渡辺六兵衛が、伊勢神宮を遷座するために建立。1809年から神宮の式年遷宮に合わせて、20年ごとに建て替えられてきた。

しかし、戦争のため1929(昭和4)年を最後に行事は途絶え、現在の鳥居は9代目で41年前のもの。鳥居を管理する同連合自治会で「そろそろ建て替えを」と話題に上っていたところ、3年前の式年遷宮をきっかけに、同行事も復活させることになったという。

1年前に鳥居建て替えの実行委員会を組織し、準備を進めてきたが、過去の記録がないため手探りの状態だったという。多額の費用は地域住民や市内の企業などから寄付を募って集めた。

今回の建て替えには、内宮の別宮・伊雑宮の古材を譲り受け、9月中旬には用材の加工状況を住民に公開。奉曳車の曳き手には地域の老若男女800人が志願した。木遣り唄を練習し、法被もそろえて準備している。

当日は、午前8時から日永小学校で安全祈願をした後、同9時に出発。3台の奉曳車を綱で曳きながら、東海道を追分まで1・5キロ練り歩く。

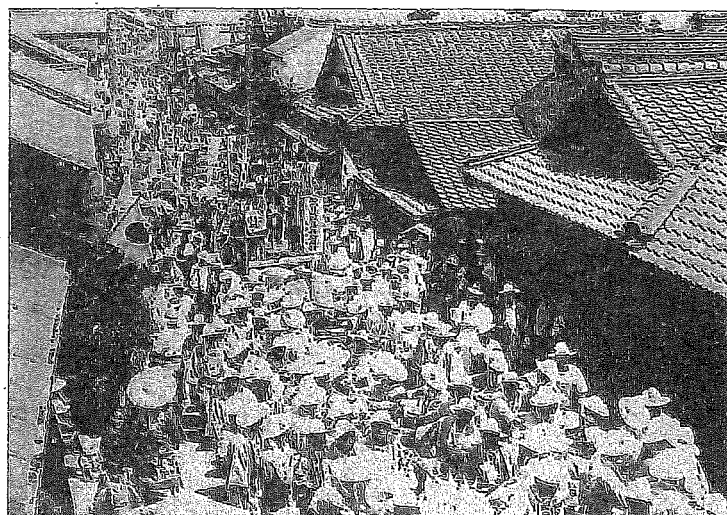


▶お木曳行事に向け直径約40cmの柱を加工する作業を見守る人たち

伊勢神宮二の鳥居 日永の追分



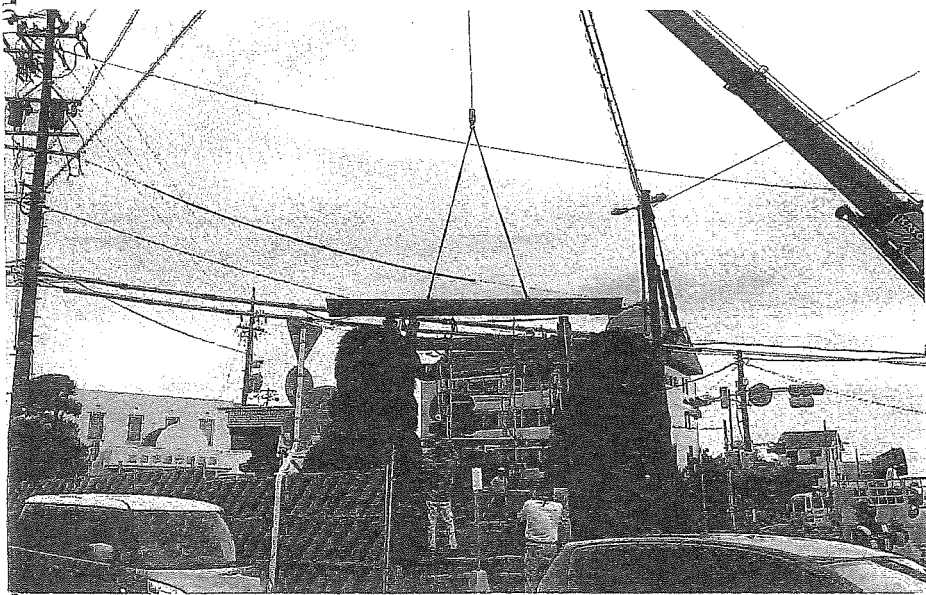
こ入道くんと 鳥居のツリーショット



〈同〉の寝言

「鳥居建替えの哀ばなし」

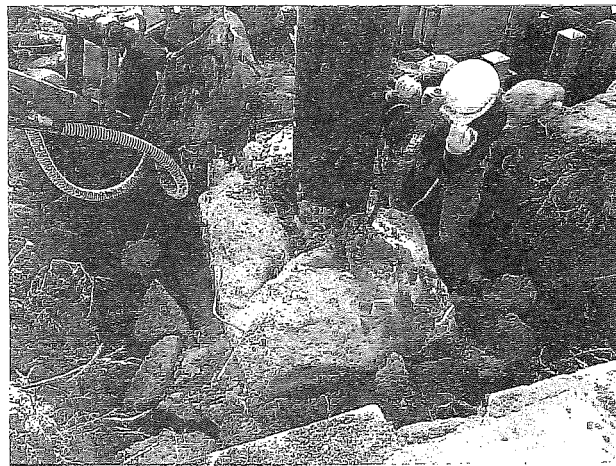
「神ってるよ！」今年の流行語じゃないけれど、私の所へ鳥居建替えの仕事が舞い込んで来ました。私のような者に「神」の仕事はどうか(?)と思いましたが、



(41年間、風雨にさらされた鳥居がお役目終えて、宙に舞う)

これも何かのご縁と思い、仕事の段取りを開始。先ず始めに鳥居の現状がどのようなものか、現地で調査し、設計図を伊勢神宮まで確認に行き、工程を考え、国交省・市・警察等関係機関に書類を整え、いざ着工。(この時点で私の脳裏には、現場における仕事内容は自信満々、完(キマ)現場における仕事内容は自信満々、完(キマ)周囲の樹木を撤去後、仮囲いとして、いよいよ鳥居の解体作業です。クレーンで鳥居を吊り上げ(上昇豆)チェーンソーで地面から約15Mの部分で柱を切断し、無事に鳥居は撤去できました。このあと順調に作業は進む筈でしたが、ここで予想外の大問題発生！なんと鳥居の柱の根元は円筒形の鉄で頑丈なコンクリートで覆われ、その中に柱があると云うとんでもない基礎。もううんこの基礎は想定外で解体には3日間という時を割ってしまった。後で考えてみれば伊勢へ行った時、柱は土で埋まっていますと云われ、そのままの頭でまさか、こんな大きな基礎がの結末でした。

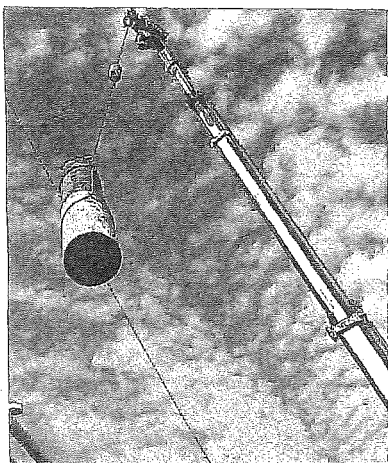
さて、今日は10月21日(金)鳥居建替の日(10/24)が目前となりました。無事、仕事が完成できようばんばるゾー。



「こんな大きな基礎が!!」
(研ってる人と比較してみて!)

(同床則記)

(根っこがやっと抜けた)



家事の裏ワザ



「古い靴下や

古いゴム手袋捨ててませんか？」

その上手な活用法をご紹介します！

テレビ・オーディオセットや本などのホコリは、なかなか取りにくいもの

そこで、穴が開いたり薄くなってしまった古い靴下を利用して掃除。

方法は、古い靴下を手にはめて拭くだけです。ウール混や化繊なら

ウールやアクリルの毛羽の方にホコリがよく付着しますし、手を使う

ので細かい部分もよく掃除することが出来ます。水気を嫌う桐の

タンスやムクの木製家具をから拭きするのにも重宝です。

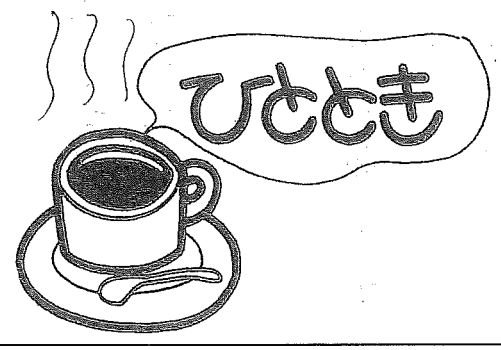
一方、使った古いゴム手袋は、毛足の長いカーペットの掃除に便利です。

ゴム手袋なら両手にはめて、カーペットを少し力を入れてしごくだけ

で、掃除機で取ればあっさり髪の毛や部屋の隅のゴミが出てきて、それ

らうと簡単にゴミよせて取ることが出来ます。

お試しになってみませんか？



「山寺の石のきざはし下りければ

椿こぼれぬ右にひだりに」

「存じの方もいらっしゃると思いますが明治の歌人落合直文の短歌です。」

さて、ここに出てくる「きざはし」は漢字で書くと

「階」の一字。意味は「階段」と同じです。

「きざはし」は動詞の「刻む」と「橋」が合体した言葉

しかし、この橋はニヶ所とつなぐものと言う広い

意味をもっており「ニヶ所とつなぐ、きざはしの刻まれた

道」すなわち階段。

また、「きざはし」「かけはし」「はしご」は、「ニヶ所を

つなぐ道」と言う意味の「橋」から生まれた、いわば

兄弟の言葉でもあります。



幸せを生む住まいの

「ホームミー教室」です！



健康で快適な住まいづくりには
主婦のストレスを防ぐ工夫が必要です。

明るく楽しい家庭には、
いつも元気な主婦の姿があります。

主婦の笑顔は、家族の健康を守る大きなカギです。
家族が元気でいられるよう、住まいの計画では
主婦のストレスをつのらせない環境と
機能づくりを考えなくてはなりません。

住まいには、異なった用途や役割をもつ場所があります。
そこに何をどう求めたらよいか、位置や広さ、
他の部屋との関係を考えながら計画していきます。



幸せをもたらす 家庭環境の勉強会

～幸せを生む住まい～

- ◆ 開講日時： 随時受付・予約制
ご希望の方は事前にご予約下さい。
- ◆ 会場： 中村建設(株)事務所内 四日市教室
- ◆ お申込先： 下記フリーダイヤルまで

中村建設株式会社
★フリーダイヤル★ 0120-334181



NPO全国組織 内閣府認定
幸せな家庭環境をつくる会 三重支部
ホームスタディグループ (HSG)

〒510-0368 三重県四日市市小古曾1丁目1番7号
TEL (059) 345-7726 FAX (059) 345-0745
E-mail: info@nakamurakensetsu.co.jp

